



戦略の検討・策定経緯など

市内の生きもの調査も踏まえながら、約2年間、さまざまな立場から検討・協議を行い、「戦略」を策定しました。

■検討の経緯

平成25年度		
時期	名称	内容
7月9～10、16日	生物多様性基礎調査（夏期）	・市内 11 地点において植物、鳥類、哺乳類・両生類・爬虫類、昆虫類、水生生物の調査を実施
8月4日	生物多様性普及イベント 「いなぎ生きものクイズラリー “生物多様性” の謎をとけ！in 城山公園」開催	
10月1～3日	生物多様性基礎調査（秋期）	・市内 11 地点において植物、鳥類、哺乳類・両生類・爬虫類、昆虫類、水生生物の調査を実施
10月22日	第1回 稲城市生きもの多様性市民会議	・ミニ・レクチャー「生物多様性とは」 ・稲城市の生物多様性の現状 ・イベント実施報告と簡易調査マニュアル(案) 試行 ・生物多様性から見た稲城市の「宝」めざす「未来」
11月13日	第1回（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会	・生物多様性とは ・生物多様性基礎調査実施結果（夏期調査報告） ・イベント実施報告 ・（仮称）いなぎ生きものマップ
11月15日	平成25年度 第1回稲城市環境審議会	・生物多様性とは ・生物多様性基礎調査実施結果（夏期調査報告） ・イベント実施報告 ・（仮称）いなぎ生きものマップ
12月14日	稲城市生きもの多様性市民会議 現地視察	・市民会議有志による市内自然環境の視察（城山公園、ふれあいの森、清水谷戸川、多摩川など）
12月24～25日	生物多様性基礎調査（冬期）	・市内 11 地点において鳥類、哺乳類・両生類・爬虫類の調査を実施
1月27日	第2回 稲城市生きもの多様性市民会議	・現地視察実施報告 ・平成25年度生物多様性基礎調査結果の報告 ・簡易調査マニュアル（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略の枠組み
2月17日	第2回（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会	・稲城市生きもの多様性市民会議実施報告 ・平成25年度生物多様性基礎調査結果の報告 ・簡易調査マニュアル（案） ・（仮）生物多様性に係るチェックリスト（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略の枠組み
3月27日	平成25年度 第4回稲城市環境審議会	・簡易調査マニュアル（案） ・（仮）生物多様性に係るチェックリスト（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略の枠組み ・稲城市生きもの多様性市民会議実施報告 ・平成25年度生物多様性基礎調査結果の報告



←イベント
「いなぎ生きものクイズラリー “生物多様性” の謎をとけ in 城山公園」(H25.8.4)

生物多様性基礎調査→



平成26年度		
時期	名称	内容
4月1～3日	生物多様性基礎調査（春期）	・市内11地点において植物、鳥類、哺乳類・両生類・爬虫類、昆虫類、水生生物の調査を実施
5月7日	多摩サービス補助施設内の自然環境の踏査	
7月9日	第3回 稲城市生きもの多様性市民会議	・生物多様性基礎調査結果の報告 ・簡易調査マニュアル（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（たたき案）
7月13日	簡易調査マニュアル試行イベント「ファインダーから見えるいなぎの自然」開催	
7月17日	第3回（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会	・生物多様性基礎調査（春期等）の概要報告 ・イベント実施報告（速報） ・簡易調査マニュアル（案） ・エコ・アクションプラン（改定版）（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（たたき案）
8月28日	平成26年度 第1回稲城市環境審議会	・生きもの調査マニュアル（案） ・エコ・アクションプラン（改定版）（案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（たたき案） ・生物多様性基礎調査（春期等）結果の報告 ・イベント実施報告
11月21日	第4回 稲城市生きもの多様性市民会議	・稲城市生物多様性シンポジウム ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（素案） ・稲城生きものフォト調査-市民調査マニュアル- ・普及啓発パンフレット（素案）
11月28日	第4回（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会	・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（素案） ・エコ・アクションプラン（改定版）（案） ・稲城生きものフォト調査-市民調査マニュアル- ・稲城市生物多様性シンポジウムと普及啓発パンフレット（案）
12月4日	平成26年度 第2回稲城市環境審議会	・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略についての諮問 ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（素案） ・エコ・アクションプラン（改定版）（案） ・稲城生きものフォト調査-市民調査マニュアル- ・稲城市生物多様性シンポジウムと普及啓発パンフ（案）
12月6日	稲城市生物多様性シンポジウム開催	
12月15日～1月9日	市民意見公募の実施	
2月19日	第5回（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会	・稲城市生物多様性シンポジウム開催報告 ・市民意見公募によせられたご意見と回答 ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（案） ・普及啓発パンフレット（案）
2月27日	第5回 稲城市生きもの多様性市民会議	・稲城市生物多様性シンポジウム開催報告 ・稲城市生きものフォト調査パンフ（最終案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（案） ・普及啓発パンフレット（案）
3月5日	平成26年度 第4回稲城市環境審議会	・稲城市生物多様性シンポジウム開催報告 ・稲城市生きものフォト調査パンフ（最終案） ・（仮称）稲城市生物多様性地域戦略（案）、答申（案） ・普及啓発パンフレット（案）
3月13日	答申	・環境審議会メンバーより答申



（左）イベント
「ファインダーから
見えるいなぎの自然」
（H26.7.13）

（右写真およびちらし）
稲城市生物多様性シンポ
ジウム（H26.12.6）



■稲城市生きもの多様性市民会議 名簿

区分	氏名	所属など	備考
市民	高山 伸裕	市民公募	
	山本 理		
	吉田 篤人		
学識者	葉山 嘉一	日本大学大学院 准教授	座長
教育関係者	濱田 伸／深井 薫	小学校校長会	H25年度／H26年度
	杉本 真紀子／橘 太造	中学校校長会	H25年度／H26年度
事業者	浅子 功夫	商工会商業部会	
	貝塚 亮平	商工会工業部会	
	濱島 克宏	商工会建設部会	
	川島 源之／高橋 健一	農業委員会	H25年度／H26年度

■稲城市環境審議会 名簿

条例区分	氏名	所属団体など	備考
市民	原田 正行	自然環境保全審議会	副会長
	横田 比佐夫	まちをきれいにする市民協議会	副会長
	松本 裕一	廃棄物減量等推進審議会	
	川島 幹雄／馬場 栄次	稲城市自治会連合会	H25年度／H26年度
学識経験者	佐藤 敬一	東京農工大学 准教授	会長
	根本 志保子	日本大学 准教授	
関係行政機関	濱田 伸／深井 薫	小学校校長会	H25年度／H26年度
	杉本 真紀子／橘 太造	中学校校長会	H25年度／H26年度
事業者	阿部 浩宣	商工会	
	長坂 三枝子	商工会	

■（仮称）稲城市生物多様性地域戦略庁内策定委員会 名簿

企画部：企画政策課長、総務部：総務契約課長、市民部：経済観光課長、環境課長、都市建設部：都市計画課長、土木課長、管理課長、区画整理課長、市街地整備課長、下水道課長、教育部：教育総務課長、生涯学習課長、指導課長

■市民意見公募 3件のご意見をいただきました。



稲城市生きもの多様性市民会議



稲城市環境審議会



庁内策定委員会

稲市環第 2265 号
平成 26 年 12 月 4 日

稲城市環境審議会
会長 佐藤 敬一 殿

稲城市長 高橋 勝浩



「(仮称) 稲城市生物多様性地域戦略 (案)」について (諮問)

このことについて、稲城市環境基本条例第 22 条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

記

- 1 諮問事項 (仮称) 稲城市生物多様性地域戦略 (案) について
- 2 諮問理由 「生物多様性基本法」及び「稲城市環境基本条例」を踏まえつつ、平成 27 年度から 36 年度の 10 年間を計画期間とする「(仮称) 稲城市生物多様性地域戦略 (案)」を作成いたしました。
つきましては、同戦略の名称及び内容について、貴審議会の意見を求めます。
- 3 答申期限 平成 27 年 2 月 27 日 (金)



平成 26 年 3 月 13 日

稲城市長 高橋 勝浩 殿

稲城市環境審議会
会長 佐藤 敬一

(仮称) 稲城市生物多様性地域戦略 (案) について (答申)

平成 26 年 12 月 4 日付、稲市環第 2265 号にて諮問された「(仮称) 稲城市生物多様性地域戦略 (案)」(以下、本戦略とします。) についての審議結果として、下記のとおり答申します。

記

1. 計画名称

「生物多様性基本法」の中では、地方自治体への努力義務として「生物多様性地域戦略」の策定が定められています。これを受け、本戦略の位置付けを明確にする観点、また、市民・事業者・学校と市の協働が欠かせない本戦略の性質に鑑み、親しみ易い名称とする観点から、「生物多様性いなぎ戦略」が適切と考えます。

2. 計画内容

昨今の生き物を取り巻く環境については、世界的な生息環境の減少や外来生物との競合、地球温暖化などの影響があり、人為的な関与が無くしては、生物多様性の確保が難しい状況となっています。

既に市は、生物多様性の確保に向け、土地区画整理事業や公共施設の建設などに当たり、生態系の確保や質の向上などの取り組みを行っているところではありますが、今後も必要な場面・対象に対して引き続き可能な配慮を施すと共に、市民・事業者・学校における意識や配慮行動をより一層向上させるべく、人材育成や周知・啓発、協働の促進などを図る必要があります。

本戦略においては、市民会議・庁内策定委員会・自然環境保全審議会・環境審議会の場を通じ、様々な主体の参画により、それぞれの意見が聴取され、また、それに基づく議論が行われた結果、弾力性を持ちつつ必要と思われる施策が掲載されています。

市はこの 10 年間の計画期間において本戦略を尊重し、PDCA サイクルに基づく管理を行い、「稲城市環境白書 稲城市の環境」の作成を通じ環境審議会の審議内容を踏まえつつ、施策の計画的な推進に鋭意努めてください。



稲城市内の取組事例・用語解説・コラムなど一覧

稲城市内の取組事例

「稲城ふれあいの森特別緑地保全地区」の指定	35
東京都・多摩市との連携による自然環境の保全	35
稲城市の自然を守る制度「自然環境保全地域」	36
ゴルフ場と生物多様性	45
エコロード整備の取組	49
大丸用水を活かした水辺づくり	52

稲城市内で実際に行われている取組を紹介しています。これを知っていたら、かなりの稲城通かも。



用語解説

稲城市環境基本条例	2
生物多様性と生態系	4
ビオトープ	12
「表土」と「シードバンク」	41
外来種	42
CSR活動	42
エコトーン（環境移行帯）	47
ハビタット評価認証制度（JHEP 認証シリーズ）	47
グリーンインフラ	48
アダプト制度	50
ワンド（湾処）	52
エコミュージアム	53
ESD（持続可能な開発のための教育）	56
稲城市民環境クラブ	58
エコツーリズムとエコツアー	60

専門用語など、分かりにくい言葉を説明しています。どういう意味か分からない時、たしかめたい時に読んでね。



コラム

自然環境の“目じるし”カエル類	18
自然の保全とエコロジカル・ネットワーク	37
「種の絶滅」が意味すること	38
野生動物と共存するために	39
街路樹などと生きものの関係	44
自然を付加価値とした農産物のブランド化	61
消費活動を通じた生物多様性の保全～生態系に関連するエコラベル～	62
稲城市内のオオキンケイギク	67

内容について、もう一歩踏み込んで解説しています。もっと知りたい時に読んでね。



行ってみよう！・考えてみよう！・やってみよう！

稲城の自然の中で生きものをさがしてみよう！	35
「種の絶滅」が意味すること	38
外来種	42
おしえて！みぢかな生きもの	58
“買いもの”を通じた「生物多様性」の保全に取組んでみよう！	61

ここまでくれば、もう「生物多様性」は「当たり前」だね！





©K.Okawara・Jet Inoue



生物多様性いなぎ戦略

～つなげよう！いなぎの生命（いのち）・伝えよう！ともに生きる力～

策定 平成 27 年（2015 年）3 月

発行 稲城市

編集 稲城市環境課

〒206-8601 東京都稲城市東長沼 2111 番地

042-378-2111（代）

